

～はなのえん～

花宴

筆：服部サカ工様（はぎ入居者）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 石黒 善治

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第43号 発行日：令和5年12月1日

ぬくもりと絆を
大切に



特別養護老人ホーム山科積慶園
事務長 湯川 和美

入居者様・
ご家族様と
向き合い



特別養護老人ホーム山科積慶園
介護部長兼生活相談員 濱野 隆志

山科積慶園は今年12月で満15年を迎えます。私は、開設メンバーとして採用され、施設が建つ前から携わらせていただいています。建設前の空き地を何度か車で見にきたり、建築中も現場にヘルメットを被って見学していたことが懐かしく、思い出されます。西京区の法人本部に開設準備室を設け、業者の選定や備品の発注、また採用職員へ「施設の今(建設工事の途中経過)」を伝えるため機関紙の作成などを行って、開所の日を心待ちにしていました。

★ 建物が完成し、引き渡しが行われると、次に備品がぞくぞくと搬入され、無機質な空間が新しい生活の場へと変わっていくのを感じながら、日々遅くまで、備品の確認作業や、細かな備品の買出しに奔走していました。施設の立ち上げ準備に必死だった時間は、今思うと、とてもいい経験をさせてもらえたと思います。

あれから15年。あっという間でしたが、これからも山科積慶園の基本理念である「ぬくもりと絆」を大切に、入居者様には、その人らしく暮らして頂けるように、またご家族様には安心していただけるように、施設職員はこの職場でよかったと思ってもらえるように、職員一丸となって努力していきたいと思っています。

11月後半から急に寒くなり、体調を整えるにも大変な日々が続いています。また、インフルエンザが流行し、新型コロナが5類となりましたが他の高齢者施設ではクラスターが発生していたり、まだまだ油断できないと感じます。ご入居者様、ご家族様にご迷惑をおかけしているかと思いますが、この状況が収束する事を願うばかりです。

そんな中、少しでもご入居者様に楽しんでいただけるように、感染対策をした上でレクリエーションを実施するようになってきました。やっぱり参加されたご入居者様の笑顔は、私たちの仕事する上でもモチベーションが上がります。

私は5月から介護部長と生活相談員を兼務する事になりました。まだまだ現場のフォローをする事が多く、相談員としては未熟で機能していない事が多いかと思えます。今まで、利用されているご入居者様、ご利用者様との関わりでどのようなケアが適切なのか考えておりましたが、相談員として、それにプラスしてご家族様とも向き合い、ご家族様にとっても、どの様なケアが適切なのか考える事が多くなりました。大変重要な職種であり、身が引き締まる思いです。まだまだ勉強不足な部分もありますが、ご入居者様、ご利用者様、ご家族様に安心して頂けるように努力していきます。

《夏まつい》



今年の夏まつりは恒例にもなっているスマートボールを一階で開催しました。大当たりをねらって慎重にボールを投げる方、「当たりますように・・・」とお願い事をして投げる方等、様々で、「あー、おいしい!!」「もう一回!!」等声が飛び交い、大盛り上がりでした。景品も昨年以上に種類を増やし、入居者様もどれにしようかと悩んでいました。

また、今年は新型コロナ感染が起きてから出来なかった櫓をテラスに設営できました。入居者様はその下で手作りの太鼓をリズムよく叩いて、スタッフと一緒に祭りの雰囲気を楽しまれていました。昼食には屋台風のお弁当をご用意し、おやつにはスイカ割りをして、切り分けたスイカを皆様で召し上がっていただきました。夏の風物詩でもある夏まつりを堪能



され、楽しい思い出が作れたと思います。また、事務長や看護師の皆さんも浴衣姿で雰囲気を盛り上げてくれました。これからも沢山の体験をしていただき、一層元気に過ごしていただけるよう、スタッフ一同取り組んで行きたいと思います。(実行委員長：浅原稔)



山科中学校での介護授業

市老協より介護の魅力を発信・アピールする役割のハートメッセンジャーに任命され、山科中学校にて介護授業に講師として参加しました。3年生2クラスの家庭科の授業に参加し、生徒たちに白内障になった高齢者の見え方をクリアファイルを使って体験して頂いたり、日常生活での椅子からの立ち上がりを介助者、介護者になって実践して頂く等の授業をしました。生徒は皆真剣な表情で話を聞いてくださり、体験にも真剣に取り組んでおられる姿に感心しました。生徒から「おじいちゃんに、今日学んだ介護の仕方をしようと思う」と話して下さった時は嬉しく思いました。今後も介護の魅力を発信していけたら良いと思います。(谷口)



《足湯レク》



コロナの影響によりしばらく実施できなかった足湯レクリエーションを開催しました。2階やまぶきユニットでは5名の入居者様に参加していただきました。1階のテラスで2個のビニールプールにお湯を溜め、入っていただくのですが、いざ足を入れてみたら入居者様から「温いわー、もっとお湯入れて」と仰られたり「気持ちええわー、足が暖かいから眠たくなってきたわ」と皆様

大満足のご様子でした。入居者様からも好評の為、定期的開催したいと思います。

(水谷)



《口腔体操》

10月に3階はぎユニット・なでしこユニットでYouTubeの動画を見ながらラジオ体操、きよしのズンドコ体操、棒体操、口腔体操等の運動レクリエーションを実施しました。これまでコロナ禍で密になり易い為、実施出来ていませんでしたが今回新しい取り組みが出来ました。特に口腔体操ではパタカラ体操で発声により口を動かして誤嚥防止に取り組みました。舌や首を動かして嚥下し易くなるように皆さんで実施しました。今後は他のユニットでもこの取り組みを広げていきます。(石嶋)



《お茶会》

11月10日に4階フロアで恒例のお茶会を行いました。目の前にお茶が運ばれてくると、入居者様の背筋も自然と伸びます。秋の季節を彩る和菓子と共に提供し、皆様大変美味しく召し上がっておられました。和やかな雰囲気の中、ゆっくりと心を落ち着かせ、秋のひと時を楽しんでいらっしやいました。(阪井)



《ドライブレク》



入居者様に季節を感じていただくため、紅葉を観にドライブレクを実施しました。ドライブに行く前から「おお。楽しみや。」と笑顔で言われており、いざ車に乗り、京都の街並みを走ると「ここ知っているわ。」と口を揃えて言うておられました。外が寒くゆっくり紅葉を観ることはできませんでしたが、「楽しかったわ。ありがとう」と喜んでおられたので職員も嬉しく思いました。また暖かくなればドライブに行きたいですね。(大道)



車いすの寄贈を受けました

今回、株式会社紅中様から2台の車椅子を寄贈して頂くことになりました。利用者様の身体の大きさや動きはそれぞれ違い、利用者様に合う車椅子を提供できるように日々考えていますが、身体や動きに合った車椅子を提供するがなかなか難しいのが現状です。今回寄贈していただいた車いすを有効に活用し、少しでも利用者様が安楽に日々過ごすことができるようにしていきたいと思ひます。

(岡本)



《8~11月のイベント食》

一向に秋が訪れない9月、普段の食事献立にいなり寿司を入れてみました。いつもは全粥をスプーンで一口味見程度にしか食べられない方が、いなり寿司を提供した所、しっかりと食され、とても感動しました。また、11月から生魚の提供が可能となり、お刺身を提供しました。どの入居者様もお刺身は特別で早々に食され「お刺身が出て嬉しかった、美味しかった」と普段感想を言わない方がわざわざ伝えてくださり嬉しく思いました。今後も時期や回数は限定されますが、提供していきたいと思ひます。(野崎)



お刺身定食



秋の行楽弁当 (松茸ご飯等)



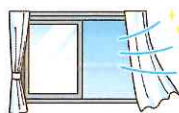
時代祭 (栗ご飯等)



文化の日 (鰻散らし寿司等)

~~ 医務室だより ~~

寒い季節となり、様々な感染症が猛威を振っている中で以前同様の感染対策を行いつつ、換気も重要となりますので、是非実施してほしいと思ひます。換気は2時間に1回で時間は5~10分程度が目安とされ、カビや微生物の発生を防ぐことができます。窓開けによる換気は、対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的な換気ができます。また、暖房器具の近くの窓を少しだけ開け、常時換気を確保する方が、室温変化を抑えられ、室温の低下を防ぎつつ、十分な換気量を得られます。風邪などひかないよう、この時期を乗り越えていきましょう。(小島)



* * * * * 編集後記 * * * * *

今年も残すところあと1カ月。毎年年末になると時の経つのは早いと感じます。山科積慶園も今月15歳になります。私も入職してはや10年、入職時は不安でしたが、入居者様の声や笑顔に支えられ、あっという間の10年だったと思ひます。

さて、年末には開設記念日、クリスマス、餅つき大会と色々なイベントがあり、楽しみです。これからも入居者の皆さんにたくさんの笑顔を送り、そして皆さんの笑顔を貰えるように頑張っていきたいと思ひます。(岸本)

